

認可外保育施設 参考様式集

八尾市 健康福祉部
福祉指導監査課

目 次

保育安全計画例	1～4
非常災害等訓練実施記録表	5
避難訓練年間計画【記入例】	6
年間行事	7
年間計画（0才児）	8
年間計画（5才児）	9
〃 （裏）	10
月カリキュラム（0才児）	11
月カリキュラム（1・2才児）	12
月カリキュラム（3・4才児）	13
月カリキュラム（5才児）	14
デイリープログラム	15
週案表	16
保育日誌	17
給食日誌	18
園児調査表	19～22
児童の健康チェック表	23
児童の健康診断項目	24
児童の健康診断表（入所時、年2回）	25
〃 （裏）	26
職員健康診断の項目等（雇入れ時及び年1回以上）	27
労働安全衛生法における定期健康診断の項目	28
くすり服用に関する「連絡表」（保護者記載用）	29
くすり依頼票（保護者記載用）	30
登園証明書（医療機関記入分）	31
登園証明書（保護者記入分）	32
SIDS予防チェックシート	33
掲示様式（保育サービス、施設の概要等）	34
〃 （記載例）	35
交付書面様式	36

〃 (記載例)	37
労働者名簿 (横書き)	38
〃 (縦書き)	39
賃金台帳 (常時使用労働者)	40
賃金台帳 (日々雇い労働者)	41
労働条件通知書 (雇入通知書)	42
〃 (裏)	43
感染症及び食中毒の発生(疑いを含む)について	44～45
感染症及び食中毒の発生に関する最終報告について	46
保育所児童保育要録	47～50

保育安全計画例

◎安全点検

(1) 施設・設備・園外環境（散歩コースや緊急避難先等）の安全点検

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
重点点 検箇所						
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
重点点 検箇所						

(2) マニュアルの策定・共有

分野	策定時期	見直し（再点検） 予定時期	掲示・管理場所
重大事故防止マニュアル	年 月 日	年 月 日	
<input type="checkbox"/> 午睡	年 月 日	年 月 日	
<input type="checkbox"/> 食事	年 月 日	年 月 日	
<input type="checkbox"/> プール・水遊び	年 月 日	年 月 日	
<input type="checkbox"/> 園外活動	年 月 日	年 月 日	
<input type="checkbox"/> バス送迎（※実施 している場合の み）	年 月 日	年 月 日	
<input type="checkbox"/> 降雪（※必要に応 じ策定）	年 月 日	年 月 日	
災害時マニュアル	年 月 日	年 月 日	
119 番対応時マニユ アル	年 月 日	年 月 日	
救急対応時マニュアル	年 月 日	年 月 日	
不審者対応時マニユ アル	年 月 日	年 月 日	

◎児童・保護者に対する安全指導等

(1) 児童への安全指導（認可外保育施設の生活における安全、災害や事故発生時の対応、交通安全等）

	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
乳児・1歳以上 3歳未満児				
3歳以上児				

(2) 保護者への説明・共有

4~6月	7~9月	10~12月	1~3月

◎訓練・研修

(1) 訓練のテーマ・取組

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
避難 訓練 等 ※1						
その 他 ※2						
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
避難 訓練 等 ※1						
その 他 ※2						

※1 「避難訓練等」・・・認可外保育施設指導監督基準第3の1(2)の規定に基づき定期的に実施する避難及び消火に対する訓練

※2 「その他」・・・「避難訓練等」以外の119番通報、救急対応(心肺蘇生法、気道内異物除去、AED・エピペン®の使用等)、不審者対応、送迎バスにおける見落とし防止等

(2) 訓練の参加予定者(全員参加を除く。)

訓練内容	参加予定者

(3) 職員への研修・講習（園内実施・外部実施を明記）

4~6月	7~9月	10~12月	1~3月

(4) 行政等が実施する訓練・講習スケジュール ※所属する自治体・関係団体等が実施する各種訓練・講習スケジュールについて参加目途にかかわらずメモする

--

◎再発防止策の徹底（ヒヤリ・ハット事例の収集・分析及び対策とその共有の方法等）

--

◎その他の安全確保に向けた取組（地域住民や地域の関係者と連携した取組、登降園管理システムを活用した安全管理等）

--

【非常災害等訓練実施記録表】

実施日時	年 月 日()				天候		記録者	
	時 分～ 時 分							
参加人数	児童	人 0歳 人、 3歳 人、	1歳 人、 4歳 人、	2歳 人、 5歳 人	職員	人	合計	人
訓練の想定	火災() 地震() その他()							
避難場所	第1()				第2()			
実施内容								
反省・感想								
用具の点検	火元の始末 持出し用品		非常口の確保 消火器点検		その他			
実施日時	年 月 日()				天候		記録者	
	時 分～ 時 分							
参加人数	児童	人 0歳 人、 3歳 人、	1歳 人、 4歳 人、	2歳 人、 5歳 人	職員	人	合計	人
訓練の想定	火災() 地震() その他()							
避難場所	第1()				第1()			
実施内容								
反省・感想								
用具の点検	火元の始末 持出し用品		非常口の確保 消火器点検		その他			
記入例	〇〇年6月 日()				天候	晴れ	記録者	八尾花子
	10時00分～11時00分							
参加人数	児童	15人 0歳3人、 3歳4人、	1歳3人、 4歳2人、	2歳3人、 5歳0人	職員	5人	合計	20人
訓練の想定	火災(近隣店舗から出火) 地震() その他()							
避難場所	第1(保育室隣接の空き地)				第2(〇〇小学校)			
実施内容	園長から出火の号令。職員は児童を保育室出口に集め、0・1歳児は散歩車を使用、それ以外の児童は散歩リングを使用し第2避難場所である〇〇小学校へ避難を始める。〇〇小学校にて、人数・状態の確認後、園長から鎮火の号令。							
反省・感想	出火の号令に対し、児童は特に混乱もなく落ち着いて指示に従い保室出口まで集まったが、小学校までの経路に工事で散歩車が通りづらい場所があった。万一に備え複数の経路を確保する必要がある。併せて、今後も、職員間の連携を密に訓練を重ねていきたい。							
用具の点検	火元の始末 持出し用品	○	非常口の確保 消火器点検	○	その他 非常用ランタンの電池が切れていた。			

【記入例】

避難訓練年間計画

月	内 容	
4	避難訓練 (火災・地震)	新入児を含め、絵本・紙芝居等で避難訓練について、理解できるよう諸注意をする
5	避難訓練 (火災・地震)	全員入室、新しい設備の中で、非常ベルの音で避難場所に敏速に行動する等、注意をする
6	避難訓練 (水害)	大雨により、〇〇川が氾濫したと想定 浸水想定より高所に速やかに非難する。
7	不審者対応 訓練	玄関から不審者が施設に侵入したことを想定 非常口から避難および、警察に通報する。
8	避難訓練 (地震)	震災の地震話をし、大きな机の下、園庭等に集合、 合図のある迄、じっと待つ
9	(台風)	マイク放送で大風、大雨の強さを想定させ、保育者の指示を守り、お迎えを待つよう話をする
10	避難訓練 (火災)	調理室から出火、午睡準備中(0、1は午睡中) 非常ベルの合図で、消火作業せず0～1を避難する
11	避難訓練 (水害)	集中豪雨により、〇〇川が氾濫したと想定 浸水想定より高所に速やかに非難する。
12	避難訓練 (火災・地震)	火元・・・調理室 設定保育中 乳児は裏に、幼児も裏階段から素早く避難する
1	避難訓練 (地震)	午睡前、机は部屋の片隅に片付けている為、部屋の 中央に集まり、静かに指示を待つ
2	不審者対応 訓練	園庭に不審者が侵入したことを想定 建物内に避難および、警察に通報する。
3	避難訓練 (火災)	火元・・・調理室 行事終了、各室に入室前 非常ベル、マイク放送で避難行動をする
<p>7月・・・プール遊び、花火遊びについての注意事項</p> <p>8、9月・・・台風シーズンの諸注意(保育士、親の指示を聞くこと)</p> <p>11月・・・家庭において、暖房器具には勝手に触らないよう注意する</p>		

【年間行事】

【記入例】

月	行 事 名 (下線は保護者会行事)
4	・入園式 ・クラス懇談会
5	・子どもの日の集い ・親子バス遠足 (3・4・5 歳児) ・内科検診 ・歯科検診
6	・保育参観
7	・プール開き ・宿泊保育 (5 歳児) ・七夕まつり ・親子七夕
8	・プール遊び、水遊び ・プールじまい
9	・歯磨き指導 (隔年) ・敬老の日の集い ・視力検査 (3・4・5 歳児)
10	・運動会 ・遠足 (3・4・5 歳児) ・内科検診 ・だんじり曳き
11	・お店屋さんごっこ ・保育参観 ・歯科検診 ・尿検査 ・個人懇談会 ・移動動物園
12	・ケーキ作り ・クリスマス会 ・もちつき会
1	・たこあげ大会
2	・生活発表会 ・鬼遊び (節分行事) ・マラソン大会 ・ <u>人形劇</u>
3	・ひな祭り ・お別れ遠足 ・お別れ会 ・クラス懇談会 ・卒園式
毎月	・お誕生日会 ・避難訓練 ・身体測定 ・職員検便 ・職員会議 ・給食会議
その他	・ 地域交流事業……おおむね月 1 回 ・ 中学生職業体験学習受入れ……2 校 (11 月) ・ 職員研修会……協会合同研 (年 3 回)、独自研 (年 2 回) ・ 小学校体験入学、連絡会 (3 月)

【年間計画（0才児）】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所、進級式			七夕祭り プール開き	プール閉い	運動会	お店ごっこ	クリスマス会 餅つき			生活発表会 絵画展	お別れ会 卒園式
<p><食事>（具体的な発達を目標とし、時期等記入しておく） 例：◎意欲を持って食べる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ スプーン、フォークを食べようとする ○ 好きなものをおかわりしたり、量を調節したりしながら、食べる喜び、食べた喜びを味わっていく <p><睡眠></p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 一定時間ぐっすり眠れ、気持ちよく目覚める <p><排泄></p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 生活の節目に促されてオマルで排泄をする ○ 後告をする ○ 尿意を感じて保育士に知らせたり、オマルに座る <p><着脱></p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 身のまわりの事が少しずつ自分で出来る喜びを味わう ○ 靴、パンツを保育士の援助で着脱しようとする ○ 保育士の援助で自ら手足を動かし、着脱してもらう <p><清潔、健康・安全></p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 食前におしほりて手を拭く、食後、拭いて貰う ○ 保育士の援助で手洗いをする ◎ 鼻汁が出たら拭いて貰う ◎ 危険な事は保育士の指示でやめる ○ 自分で手洗いをし、タオルで拭く ◎ 鼻汁を自分で拭こうとする ○ 危険なことは大体解る 											
<p>基本的な生活習慣</p>											
<p>◎ いろんな生活遊びを通して、全身の運動機能を身につけていく</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ハラソをとりながら歩く（砂利道、スロープ、落ち葉の上、溝ふた、その他） ○ 安定した足取りでしっかり歩く ○ ぶら下がりがり、飛び降り、よじ登り、四つ這い、高這い、走る、止まる ○ 道具を使って遊ぶ（ボール、ミニカー、滑り台、トランポリン、木製ジャンプジム、他） <p>◎ 手のひら、指先、腕を使う活動を楽しんでいく</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ いろんな素材で楽しむ（積み木、ブロック、洗濯バサミ、シール、他） ○ 生活や遊びの中で物の操作の仕方を知っている（水道栓、スプーン、ボタン、おわん、他） 											
<p>全身運動</p>											
<p>手指操作</p>											

言語・認識	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 自分の思いや要求を伝えられる <ul style="list-style-type: none"> ○ 思いや要求を身振り、表情、言葉で伝えようとする ○ 経験したことを簡単な言葉で共感、共有していく ○ 保育士の話しかけや指示に注目し、行動しようとする ◎ 身の回りの物や人に関心を持つ <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の名前、マーク、持ち物がわかる ○ 友達の名前がわかる ○ 保育士の名前、友達の名前がわかり言える ◎ 絵本を楽しむ <ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な物が出てくる絵本を楽しむ ○ 簡単な繰り返し、身近な体験のある絵本を楽しむ ○ 簡単なストーリーのある絵本を楽しむ
対人関係	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 子どもと保育士の安定した関係を基礎に周りの友達に関心に向け、一緒にする楽しさや関わり方を知っていく <ul style="list-style-type: none"> ○ 簡単なつもり遊び、ごっこを通して皆と洞になって遊ぶ楽しさを経験していく ○ それぞれの子ども達の遊びや、好奇心、探索を保障する小集団で行動する時間を持つ ○ 物を媒介にして、「いっしょやな〜」かして〜」など、共感した関わり方を知っていく ○ トラブルの場合、子どもの要求をまず言葉にして、確かめ受け止める <ul style="list-style-type: none"> ○ 保育士の支えで自分の要求や思いを相手に伝えていく（保育士の媒介でトラブルの相手と仲直りをしたという経験を積んでいく）
遊び	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 手指を使う遊びを楽しむ <ul style="list-style-type: none"> ○ 砂遊びを楽しむ（道具を使う） ○ 泥んこ、水遊びを楽しむ（手足、全身で水の感触を楽しむ） ○ 砂、土を変化させて、みだてて楽しむ ○ 変化する素材を楽しむ（紙、土、砂など） ○ ファインガーペイント、色水など（小麦粉粘土など） ○ 描画、簡単な製作を楽しむ ◎ 散歩を楽しむ <ul style="list-style-type: none"> ○ 探索活動を楽しむ ○ 四季折々の周辺や自然や小動物を見て楽しむ ○ 目的を持って出かける ○ 乳母車の利用 ◎ 生活再現遊びを楽しむ <ul style="list-style-type: none"> ○ 簡単な見立てつもりを楽しむ ○ 保育士とのやり取りを楽しむ ○ 保育士が媒介し、友達同士へつなげていく ◎ 固定遊具で遊ぶ <ul style="list-style-type: none"> ○ 乳児遊具をつかって保育士と一緒に遊ぶ、遊びながら遊具の使い方を知る ○ 運動場の遊具を楽しむ ◎ 歌、リズム、手遊びを楽しむ <ul style="list-style-type: none"> ○ 保育士の真似をして楽しむ ○ リズムや体操、手遊び等、身体を動かして共感して楽しむ <p style="text-align: right;">友達のまねっこ、大きいクラスの子の真似っこをして楽しむ</p>

月カリキュラム（0歳児）

	生 活 習 慣	姿 勢 ・ 全 身 運 動	手 指 操 作	言 語 ・ 認 識	対 人 関 係
個人名					
個人名					
個人名					

【月カリキュラム（1・2歳児）】

才 組 名

行事予定	現 状	生 活 習 慣	運 動 機 能	言 語 ・ 認 識	人 と の か か わ り 遊 び

【月カリキュラム（3・4歳児）】

才 組名

ねらい			行事	
	現 状	課 題	配 慮	
生活習慣				
運 動				
あそび（自然科学）				
集団づくり				
手指・絵画				
言語・絵本・歌				

【月カリキュラム（5歳児）】

才 組名 _____

ねらい			行事
	現 状	課 題	配 慮
集団づくり			
あそび			
運動機能			
表現活動			
生活習慣			

【デイリープログラム】

時間	活 動		
	0才児	1才～2才児	3才～5才児
AM 7:00	開園		
	0,1,2才児混合保育 登園児より、当番職員による視診		3,4,5才児混合保育 登園児より、当番職員による視診
8:00	多年齢と保育を別室に移動		自由遊び(室内遊び、戸外遊び)
8:30	ミルク		
9:00	クラス担任において、視診 出欠、遊び	年齢別、各クラス保育 クラス担任において、視診 出欠、遊び	年齢別、各クラス保育 クラス担任において、視診、出欠
9:30	睡眠保障(月齢により保障) おやつ	おやつ	設定保育(室内遊び、戸外遊び)
10:00	室内遊び、戸外遊び	室内遊び、戸外遊び	
10:40	離乳食、給食		
11:00	沐浴	給食 自由遊び	給食、自由遊び、午睡準備
	午睡準備		
12:00	午睡	午睡準備	午睡 (年齢に合わせ実施)
13:00		午睡	
	めざめ、着替え、おやつ		
15:00	遊び	めざめ、着替え、おやつ 自由遊び	めざめ、着替え、おやつ 自由遊び
16:45	帰園準備の視診触診、順降園		
17:00		混合保育	混合保育 (人数、状態により年齢別保育)
18:30	延長保育		
19:00	閉園		

【週案表】

月 日 ~ 月 日

組名 _____

	日(月)	日(火)	日(水)	日(木)	日(金)	日(土)
活動内容・その他						
リーダー						
	日(月)	日(火)	日(水)	日(木)	日(金)	日(土)
活動内容・その他						
リーダー						
	日(月)	日(火)	日(水)	日(木)	日(金)	日(土)
活動内容・その他						
リーダー						
	日(月)	日(火)	日(水)	日(木)	日(金)	日(土)
活動内容・その他						
リーダー						
	日(月)	日(火)	日(水)	日(木)	日(金)	日(土)
活動内容・その他						
リーダー						

【保育日誌】

()くみ

年 月 日 曜日 天候 (晴 ・ 曇 ・ 雨)	出席数	人	欠席児と その理由		記録者	
	欠席数	人				
デイリープログラム	実 際 と 反 省					
7:00 9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00 19:00						
健康・安全						

【給食日誌】

月 日 曜日				天候		調理者		
献立名			材 料		アレルギー児の対応			
離乳食	午前							
	午後							
普通食	間食				調理・喫食状況			
	昼食							
	間食							
中心温度	献立名		温度	延長保育おやつ		検食	日分 保存	日分 廃棄
			℃					

月 日 曜日				天候		調理者		
献立名			材 料		アレルギー児の対応			
離乳食	午前							
	午後							
普通食	間食				調理・喫食状況			
	昼食							
	間食							
中心温度	献立名		温度	延長保育おやつ		検食	日分 保存	日分 廃棄
			℃					

園児調査表

平成 年 月 日記入

【No.1】

ふりがな				生年月日	平成 年 月 日生		
1. 園児名				性別	男 ・ 女		
2. 現住所	・平家 ・二階建 ・中高層住宅			血液型	() 型		
				電話番号			
				携帯番号			
3. 家族状況							
続柄	氏名	生年月日		年令	備考		
		S . .					
		S . .					
		S H . .					
		S H . .					
		S H . .					
		S H . .					
		S H . .					
4. 保護者の就労状況							
氏名	(父)			(母)			
勤務先	☎ ()			☎ ()			
所在地							
就労状況	平日勤務	時 ~ 時 分		時 ~ 時 分			
	土曜勤務	時 ~ 時 分		時 ~ 時 分			
	交替勤務	有 ・ 無		有 ・ 無			
	有給休暇	有 ・ 無		有 ・ 無			
通勤状況		利用するもの	所要時間	利用するもの	所要時間		
	自宅から 保育所						
	保育所から 勤務先						

5. 保育所の送迎は誰がする予定ですか。 朝 () 夕 ()					
上記の人が都合の悪いときは 朝 () 夕 ()					
6. 生育歴					
妊 娠 中					
出 産 期					
異常	有 ・ 無 浮腫 ・ 蛋白				
その他	その他の検査				
在 胎 () 週					
分娩異常 (有 ・ 無)					
体重 () g	身長 () cm				
胸囲 () cm	頭囲 () cm				
① 主な栄養 (母乳 ・ 混合 ・ 人工)					
② 離乳食 開始時期 () か月 完了時期 () か月					
③ 首のすわり () か月、追視 () か月、笑う () か月、寝返り () か月 歯のはえ始め () か月、一人ですわる () か月、這う () か月、人見知り () か月 つかまり立ち () か月、一人立ち () か月、歩きはじめ () か月					
④ 言葉 言葉のいいはじめ () か月 (現在の様子) 喃語 (例:マンマ、ブーブー) () 単語だけ 二語文がはなせる (例:コップちょうだい) 全くはなせない 一つの命令に従える (例:コップ持ってきなさい)					
7. 健康状態					
A 既往疾患					
B 伝染性疾患					
はしか (年 月 日)	風 疹 (年 月 日)				
水ぼうそう (年 月 日)	おたふくかぜ (年 月 日)				
百日咳 (年 月 日)	結核疾患 (年 月 日)				
その他 (年 月 日)					
C 予防接種					
ポリオ	ツ反応検査	三種混合	日本脳炎	はしか	水ぼうそう
年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
	B. C. G				
	年 月 日			年 月 日	
D 乳幼児健診					
4ヶ月 (受診 ・ 未受診) 1才半 (受診 ・ 未受診) 3才 (受診 ・ 未受診)					

B 睡眠

夜 ()時から 朝 ()時まで

昼 ()時から ()時まで 合計 ()時間

寝つき (よい・ふつう・わるい)、寝起き (よい・ふつう・わるい)

一人で寝る・添い寝 (誰と寝るか:)

寝つくまでのくせ [おしゃぶり・タオルをもつ・指しゃぶり・おんぶくせ
その他:]

C 排泄

大便 [規則的 (朝・昼・晩)、不規則、便秘ぎみ] 1日 ()回

(軟便・ふつう便・硬便)

小便 (近い・ふつう)

オマルにかけてする (はい・時々・いいえ)

抱いてさせている (はい・時々・いいえ)

オムツをしている : 夜 (はい・時々・いいえ)、昼 (はい・時々・いいえ)

おしっこ・うんこを (いえる・いえない) おねしょ (毎日する・時々する・しない)

おしっこは一人で (できる・できない) うんこは一人で (できる・できない)

大便後のあとしまつが (できる・できない)

自宅のトイレ (水洗・汲取り)、(洋式・和式)

D 着脱

シャツが一人で (着れる・着れない)、パンツを一人で (はける・はけない)

E 清潔

朝 顔を (洗う・洗わない)、はみがきを (する・しない)

食事の手伝いを (する・しない)

9. 遊び

家庭での遊び友だち [同年令・年上・年下・父母・兄弟・その他 ()]

どんなことをして遊んでいますか (室内:) (室外:)

どんなおもちゃ、絵本を持っていますか ()

テレビは ()時間見ている、主にどこで遊ぶか (家の中・公園・道路)

10. 習性

指しゃぶり・左きき・つめをかむ・その他 ()

11. 保育所入所までに養育にあたった人 [母・祖母・知人・その他 ()]

12. その他

【児童の健康チェック表】

氏名	実施日	/	/	/	/	/	/
	身長						
	体重						
	栄養状況						
	親等への連絡						
	身長						
	体重						
	栄養状況						
	親等への連絡						
	身長						
	体重						
	栄養状況						
	親等への連絡						
	身長						
	体重						
	栄養状況						
	親等への連絡						
	身長						
	体重						
	栄養状況						
	親等への連絡						
	身長						
	体重						
	栄養状況						
	親等への連絡						
	身長						
	体重						
	栄養状況						
	親等への連絡						
	身長						
	体重						
	栄養状況						
	親等への連絡						

児童の健康診断項目

学校保健法に規定する健康診断に準じて実施

1. 身長及び体重
2. 栄養状況
3. 脊柱及び胸郭の疾病及び異常の有無並びに四肢の状態
4. 視力及び聴力
5. 眼の疾病及び異常の有無 (3歳児未満は望ましい項目)
6. 耳鼻咽喉頭疾患の有無 (3歳児未満は望ましい項目)
7. 皮膚疾患の有無
8. 歯及び口腔の疾病及び異常の有無 (3歳児未満は望ましい項目)
9. 結核の有無
10. 心臓の疾病及び異常の有無
11. 尿
12. その他の疾病及び異常の有無

⇒ 3歳未満児不要

⇒ 実施することが望ましいが、しないことをもって「B・C」にしない

児童の健康診断（入所時、年2回）

氏名		生年月日	年	月	日	入園日	年	月	日
		性別							

健診年月日	年	月	日	年	月	日	年	月	日	
1.身長 (cm)										
体重 (kg)										
2.栄養状況										
3.脊柱の疾病及び異常の有無										
	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	
胸郭の疾病及び異常の有無										
	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	
四肢の状態										
4.視力 (3歳児未満不要)	右	1所見なし 2所見あり	右	1所見なし 2所見あり	右	1所見なし 2所見あり	右	1所見なし 2所見あり	右	1所見なし 2所見あり
	左	1所見なし 2所見あり	左	1所見なし 2所見あり	左	1所見なし 2所見あり	左	1所見なし 2所見あり	左	1所見なし 2所見あり
聴力 (3歳児未満不要)	右	1所見なし 2所見あり	右	1所見なし 2所見あり	右	1所見なし 2所見あり	右	1所見なし 2所見あり	右	1所見なし 2所見あり
	左	1所見なし 2所見あり	左	1所見なし 2所見あり	左	1所見なし 2所見あり	左	1所見なし 2所見あり	左	1所見なし 2所見あり
5.眼の疾病及び異常の有無 (3歳児未満は望ましい項目)										
6.耳鼻咽喉頭疾患の有無 (3歳児未満は望ましい項目)										
7.皮膚疾病の有無										
8.歯及び口腔の疾病及び異常の有無 (3歳児未満は望ましい項目)										
医師の診断										
医師の意見										
健康診断を実施した医師の氏名			Ⓜ			Ⓜ			Ⓜ	
9.結核の有無	→実施することが望ましいが、しないことをもって「B・C」にしない									
10.心臓の疾病及び異常の有無										
11.尿										
12.その他の疾病及び異常の有無										

1. 継続して保育している乳幼児の健康診断を入所時及び1年2回、学校保健法に準じて実施。
 2. 入所時の健康診断はなるべく入所決定前に実施し、未実施の場合は入所後、直ちに行う。
 3. 年2回の健康診断は「おおむね6月毎」に実施する。
 4. 施設において直接実施できない場合は、保護者から健康診断書または母子健康手帳の写しの提出を受ける。
 5. 児童の健康診断項目については、学校保健法に規定する項目を実施する。
 6. 診断書等の有効期限は、6ヶ月前のものまでが有効。
- ※ 1年2回の健康診断について、医師による健康診断（母子健康診断手帳の写しを含む）を1回は行なうことを前提に、後1回は施設において、身長・体重測定に加えて栄養状況をチェックすることで可。

雇入れ時及び年間1回以上、定期健康診断を実施しているか

【労働安全衛生法第66条、労働安全衛生規則第43・44条】

年1回以上、定期健康診断を実施

項目	対象者	備考
①既往歴及び業務歴の調査 ②自覚症状及び他覚症状の有無の検査 ③身長、体重、視力及び聴力の検査 ④胸部エックス線検査及びかくたん検査 (採用時、かくたん検査除く) ⑤血圧の測定 ⑥尿検査 (尿中の糖及び蛋白の有無の検査)	全 員	* 「身長」20歳以上の者は省略可 * 「聴力検査」 ・35歳、40歳及び45歳以上の者は、オー ジオメータで1000及び4000ヘルツの検 査が必要。他は医師が必要と認める方法 で可。 * 「かくたん検査」 ・胸部エックス線検査で病変がなければ省 略可。 * 「胸部エックス線検査及びかくたん検査」 ・深夜勤務者であっても、1年に1回で可 * 「尿検査」 ・尿中の糖については、省略不可
⑦貧血検査 (赤血球・ヘモグロビン) ⑧肝機能検査 (GOT・GPT・ r - GTP) ⑨血中脂質検査 (トリグリセリド・ HDLコレステロール・LDLコレステロール) ⑩血糖検査 ⑪心電図検査 (安静時心電図検査) ⑫腹囲	40歳未満 (35歳を除 く)の者は省略 可 (医師の判断に よる)	・深夜勤務者の2回目の健康診断においては 省略可 (医師の判断による)

※ 深夜業 (午後10時～午前5時の間の労働) に月4回以上従事するものについては、健康診断を年2回実施しなければならない。ただし、⑦～⑫については医師の判断により、2回目の健康診断においては省略可。③の「身長」については、20歳以上の者は省略可。「聴力検査」について、2回目の検査は、医師が適当と認める方法で可。④の「胸部エックス線検査及びかくたん検査」は深夜勤務者であっても、1年に1回で可。

また、①の「既往症及び業務歴の調査」も1回目の健康診断の際に実施しているので省略可。2回目にもどうしても実施しなければならない項目は、②「自覚症状及び他覚症状の有無の検査」⇒問診、⑤「血圧の測定」⑥「尿検査」

【雇入れ時の健康診断】

①～⑫の検査項目を全て実施する必要がある。医師の判断等による省略は不可。

ただし、医師の健康診断を受けた後、3ヵ月を経過しない者を雇入れる場合に、当該健康診断の結果を証明する書面を提出した時は、省略可。

◆労働安全衛生法における定期健康診断の項目◆

	定期健康診断	雇入時	
既往歴及び業務歴の調査	○	○	① 20歳以上の者については、医師の診断に基づき省略可
自覚症状及び他覚症状の有無の検査	○	○	② 40歳未満(35歳を除く)の者については、医師の診断などに基づき省略可
身長	①	○	
体重	○	○	③ 40歳未満の者については、以下のア～ウ以外の者で、医師が必要ではないと認めるときは省略可
腹囲	②	○	ア 20歳、25歳、30歳及び35歳の者
視力	○	○	イ 感染症法で結核にかかる定期健康診断の対象とされている施設の労働者
聴力	④	○	ウ じん肺法で3年に1回のじん肺健康診断の対象とされている労働者
胸部エックス線検査	③	○	
喀痰検査	⑤	×	
血圧	②	○	④ 1000及び4000ヘルツの音を用いてオーゾメーターで検査する必要がありますが、45歳未満(35歳、40歳を除く)の者については、他の検査方法(音叉など)に代えることができます。
貧血検査	血色素量	②	○
	赤血球数	②	
肝機能検査	GOT	②	○
	GPT	②	
	γ-GTP	②	
血中脂質検査	血清トリグリセライド	②	○
	HDLコレステロール	②	
	LDLコレステロール	②	
血糖検査	②	○	⑤ 胸部エックス線検査により病変及び結核発病のおそれがないと診断された者について医師の判断に基づき省略可
尿検査	蛋白	○	○
	糖	○	
心電図検査	②	○	※ 雇入時の健康診断には省略項目はありません

※ 特定業務従事者に対する健康診断は、定期健康診断の医師による省略基準に加え、以下により検査項目を省略することができます。
●年2回の聴力検査のうち1回は、医師が適当と認める方法を用いてもよい。
●貧血検査、肝機能検査、血中脂質検査、血糖検査、心電図検査については、年2回のうち1回は、医師が必要でないとする時は省略可

血糖検査は、空腹時血糖に加え随時血糖も可。追加で行うHbA1cの検査は、同一検体等を利用して実施することが望ましい。尿検査についても、検査項目に加え血清クレアチニン検査も同一検体を利用して実施することが望ましい。(平成29年8月4日、基発0804第4号 参照)

連絡票（保護者記載用）

連絡票（保護者記載用）

年 月 日記

【依頼先】 保育園名 宛
【依頼者】 保護者氏名 ㊟
子ども氏名 (男・女) 歳 ヶ月 日
連絡先(電話)

【主治医】 (電話)
(病院・医院) (FAX)

【病名】(又は症状)

【該当するものに○、または明記】

- (1) 持参したくすりは、 _____ 年 月 日に処方された _____ 日分のうちの本日分
(2) 保管は、 室温・冷蔵庫・その他 ()
(3) くすりの剤型 粉・液(シロップ)・外用薬・その他 ()
(4) くすりの内容 抗生物質・解熱剤・咳止め・下痢止め・かぜ薬・外用薬 ()

【調剤内容】

- (5) 使用する日時 _____ 年 月 日 ~ _____ 年 月 日 午前・午後 _____ 時 _____ 分
又は食事(おやつ)の _____ 分前・ _____ 分あと
その他具体的に ()

(6) 外用薬などの使用法

(7) その他の注意事項

薬剤情報提供書 (あり・なし)

《保育園記載》

【受領者サイン】 【保管時サイン】 _____ 月 日 時 分

【投与者サイン】 【投与時刻】 _____ 月 日 午前・午後 _____ 時 _____ 分

【実施状況など】

くすり ^{いらひひょう} 依頼票			月	日	体温 (°C)
くすりは (食前 ^{しょくぜん} ・食間 ^{しょつかん} ・食後 ^{しょくご}) 一回分 ^{いちかいぶん} です					
くみ		なまえ			
びょうめい ^{びょうめい} また しょうじょう ^{しょうじょう} 病名又は症状			びょういん ^{びょういん} いいんめい ^{いんめい} 病院・医院名		
くすりの種類 ^{しゅるい} に○をつけ、数 ^{かず} は () の中 ^{なか} に書 ^か いてください					
ないふくやく ^{ないふくやく} 内服薬		みず ^{みず} 水くすり	こな ^{こな} 粉くすり	ほか ^{ほか} その他	
		()	()	()	
がいようやく ^{がいようやく} 外用薬		ぬ ^ぬ 塗りぐすり	め ^め 目ぐすり	ほか ^{ほか} その他	
		()	()	()	
ほごしや ^{ほごしや} 保護者サイン			よやくしや ^{よやくしや} 与薬者サイン		
くすりの容器 ^{ようき} 、袋 ^{ふくろ} にもかならず名前 ^{なまえ} をかいてください					

証 明 書

保育所

氏 名 _____

(病名) _____

上記の病症で、____月 ____日から ____月 ____日までの
____日間、療養中であったが、主要症状が消退した
ので、登所しても差し支えないものと認めます。

年 月 日

医療機関名

(所在地)

(医師名)

印

届

保育所 様

_____ 保育所

_____ 児童名

(病名) _____

上記の病名で、____月____日から____月____日までの
_____日間、療養中でした。

(医療機関名： _____) から、
主要症状が消退し、登所して差し支えないと診断され
ましたので届けます。

年 月 日

保護者氏名 _____ 印

SIDS予防チェックシート

令和 年 月 日 ()

児童名 ()

時間	項目	呼吸	顔色	うつ伏せ	寝具(タオル)			備考	確認者
	0								
	5								
	10								
	15								
	20								
	25								
	30								
	35								
	40								
	45								
	50								
	55								
	0								
	5								
	10								
	15								
	20								
	25								
	30								
	35								
	40								
	45								
	50								
	55								
	0								
	5								
	10								
	15								
	20								
	25								
	30								
	35								
	40								
	45								
	50								
	55								
	0								
	5								
	10								
	15								
	20								
	25								
	30								
	35								
	40								
	45								
	50								
	55								

※ 確認項目については、適宜、施設で工夫して追加してください。

〇〇保育所

施設の所在地 〒 一
 大阪府八尾市 丁目 番号 ビル
事業開始年月日 令和 年 月 日
設置者 (代表)
管理者(設置者)

提供する保育サービス

開始時間
 月曜日～金曜日 : ~ : (延長時間帯～ : まで)
 土・日祝日 : ~ : (延長時間帯～ : まで)
定員
 名 ()

保育内容・利用料金

月極預かり 円 ~ 円
 一時預かり 円 ~ 円
 延長保育料金 円 ~ 円

※利用料金は子どもの年齢によって異なります。詳しくはお問合せください。
 ※上記料金その他、代(円) 代(円)がかかります。

保育従事者等の配置

当保育室は、通常、次のような保育従事者を配置しています。
 月曜日～金曜日 : ~ : 名(保育士 名、その他 名)
 : ~ : 名(保育士 名、その他 名)
 土・日祝日 : ~ : 名(保育士 名、その他 名)
 : ~ : 名(保育士 名、その他 名)
 その他、 を 名配置しています。

設置者及び職員の研修受講状況：

(※法第6条の3第9項に規定する業務を目的とする施設、同条第12項に規定する業務を目的とする施設(1日に保育する乳幼児の数が5人以下のものに限る。)及び法第6条の3第11項に規定する業務を目的とする施設)

設置者が過去に事業停止命令又は施設閉鎖命令を受けたか否かの別(受けたことがある場合には、当該命令の内容、当該命令を行った都道府県等名および当該命令を行った年月日を含む)

無 ・ 有 () (:)

保険の種類、保険事故及び保険金額

保険の種類 保険
 保険事故及び保険金額 補償内容 事故 1事故 円

提携している医療機関

医療機関の名称
 医療機関の所在地 大阪府八尾市 丁目 番号
 提携内容

緊急時等における対応方法(詳細：〇〇〇〇マニュアル参照)

非常災害対策(避難場所：)

虐待防止に関する事項

施設の概要

建物の構造	造		
主な設備	保育室(階室)	m ²	保育室(階室) m ²
	乳児室(階室)	m ²	調理室(階室) m ²
	その他	m ²	総延べ面積 m ²

当施設は、児童福祉法第35条の認可を受けていない保育施設(認可外保育施設)として、同法第59条の2に基づき八尾市への設置届出を義務付けられた施設です。

【設置届出先：八尾市(健康福祉部 福祉指導監査課) 電話：072-924-3012】

保育室利用に当たって		
(契約者名) 様	年 月 日	
	(設置者名) 印	
当保育施設は、以下の内容で保育サービスを提供いたします。		
◇ 保育内容・料金		
利用児童	(年 月 日生 歳 か月)	
利用形態		
利用期間	年 月 日～ 年 月 日	
利用時間		
料 金	入会金	
	利用料	
	その他	
※詳しい保育内容については、別添の「 」のとおりです。		
◇ 利用者に対しての保険の種類・保険事故・保険金額		
当施設では、以下のとおり保険に加入しています。		
保険の種類		
保険事故 (内 容)		
保 險 金 額	円	
※詳しくは、別添の「 」をご覧ください。		
◇ 提携する医療機関・所在地・提携内容		
【医療機関】		
【所在地】		
◇ その他条件等		
※当保育施設の保育内容等に関する問い合わせ、苦情等の受付先は下記のとおりです。		
(担当者氏名) (職名:) (担当者連絡先) ☎ (受 付 時 間)		
施設の概要		
○ 施設の名称・所在地		
○ 設 置 者 ・ 住 所		
○ 管 理 者 ・ 住 所		
※当施設は児童福祉法第 35 条の認可を受けていない保育施設（認可外保育施設）として、同法第 59 条の 2 に基づき八尾市への設置届出を義務付けられた施設です。		
【 設置届出先：八尾市（健康福祉部 福祉指導監査課） ☎ 072-924-3012 】		

〇〇〇保育室利用に当たって

令和〇年〇月〇日

(契約者名) 〇〇〇〇 様

〇〇株式会社
代表取締役社長 〇〇〇〇 〇 印

当保育施設は、以下の内容で保育サービスを提供いたします。

◇ 保育内容・料金

利用児童	〇〇〇〇(平成〇年〇月〇日生 〇歳〇か月)	
利用形態	月極保育	
利用期間	平成〇年〇月〇日～平成〇年〇月〇日	
利用時間	月曜日～金曜日 午前8時～午後5時	
料金	入会金	×××円 (初回のみ)
	利用料	ひと月×××円
	その他	食事代、おむつ代等は別に定める料金表により、利用に応じて徴収致します。

※詳しい保育内容については、別添の「〇〇〇保育室利用のしおり」とお送りです。

◇ 利用者に対しての保険の種類・保険事故・保険金額

当施設では、以下のとおり保険に加入しています。

保険の種類	
保険事故 (内容)	
保険金額	****円

※詳しくは、別添の「〇〇〇保険のしおり」をご覧ください。

◇ 提携する医療機関・所在地・提携内容

当施設は、△△△病院と提携しており、お子さまが急に発病した場合や、けがを負った場合にお連れすることとしています。

また、月極保育のお子さまに対しては、△△△病院の医師による年〇回の定期健康診断を実施します。

【医療機関】 △△△病院
【所在地】 〒000-0000 〇〇県〇〇市〇〇 1-10-20

◇ その他条件等

・利用に当たっては、別添の「〇〇〇保育室利用規約」記載事項を遵守してください。

※当保育施設の保育内容等に関する問い合わせ、苦情等の受付先は下記のとおりです。

(担当者氏名) 〇〇〇〇 (職名：主任保育士)
(担当者連絡先) ☎
(受付時間) 午前8時～午後5時

施設の概要

- 施設の名称・所在地 〇〇〇保育室
大阪府八尾市〇〇1-2-3 ABCビル2階
- 設置者・住所 〇〇〇〇
大阪府〇〇市〇〇4-5-6
- 施設長・住所 〇〇〇〇
大阪府〇〇市〇〇7-8-9

※当施設は児童福祉法第35条の認可を受けていない保育施設(認可外保育施設)として、同法第59条の2に基づき八尾市への設置届出を義務付けられた施設です。

【設置届出先：八尾市(健康福祉部 福祉指導監査課) ☎ 072-924-3012】

労働者名簿

様式第19号（第53条関係）

フリガナ		性別	
氏名			
生年月日	年 月 日		
現住所			
雇入年月日	年 月 日		
業務の種類			
履歴			
解雇・退職 又は死亡	年月日	年 月 日	
	事由		
備考			

労働者名簿

履 歴	死 又 退 亡 は 職		年 月 日	生 年 月 日	性 別
	を そ っ 場 が 職 事 含 の て 合 解 の 由 む り は に 雇 事 (退 一 由 、 あ の 由				氏 名
				の 従 種 業 事 類 務 す	
				年 雇 月 入 日 れ	住 所

様式第20号(第55条)

賃金計算期間	分日	氏名												
労働日数	時間													
休日労働時間数	時間													
早出残業時間数	時間													
深夜労働時間数	時間													
基本賃金	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	
所定時間外割増賃金														
手当														
手当														
手当														
手当														
小計														
非課税分賃金額														
臨時の給与														
賞与														
合計														
健康保険														
厚生年金・保険														
雇用保険														
小計														
差引残	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	
所得税														
市町村民税														
控除金														
小計														
実物給与														
差引支払金	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	
領収	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	印
印	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	印

賃金台帳

(常時使用される労働者に対するもの)

賃金	<p>1 基本賃金 イ 月給 (円)、ロ 日給 (円) ハ 時間給 (円)、 ニ 出来高給 (基本単価 円、保障給 円) ホ その他 (円)、 ヘ 就業規則に規定されている賃金等級等 <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%; margin-top: 5px;"></div></p> <p>2 諸手当の額又は計算方法 イ (手当 円 /計算方法:) ロ (手当 円 /計算方法:) ハ (手当 円 /計算方法:) ニ (手当 円 /計算方法:)</p> <p>3 所定時間外、休日又は深夜労働に対して支払われる割増賃金率 イ 所定時間外、法定超 () %、所定超 () %、 ロ 休日 法定休日 () %、法定外休日 () %、 ハ 深夜 () %</p> <p>4 賃金締切日 () - 毎月 日、() - 毎月 日 5 賃金支払日 () - 毎月 日、() - 毎月 日 6 賃金の支払方法 ()</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>7 労使協定に基づく賃金支払時の控除 (無 , 有 ()) 8 昇給 (時期等) 9 賞与 (有 (時期、金額等) , 無) 10 退職金 (有 (時期、金額等) , 無)</p> </div>
退職に関する事項	<p>1 定年制 (有 (歳) , 無) 2 自己都合退職の手続 (退職する 日以上前に届け出ること) 3 解雇の事由及び手続 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 100%; height: 40px; margin-top: 5px;"></div></p> <p style="text-align: center;">○詳細は、就業規則第 条～第 条、第 条～第 条</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会保険の加入状況 (厚生年金・健康保険・厚生年金基金・その他 ()) ・ 雇用保険の適用 (有 , 無) ・ その他 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 100%; height: 60px; margin-top: 5px;"></div> ・ 具体的に適用される就業規則名 ()

※ 本通知書の交付は、労働基準法第15条に基づく労働条件の明示及び短時間労働者の雇用管理の改善等に関する法律第6条に基づく文書（雇入通知書）の交付を兼ねるものであること。

様式1 感染症及び食中毒の発生(疑いを含む)について(報告)
 ◎発生の疑いを含む第一報の段階から本様式によりご報告ください。

1/2

		年 月 日 時 分現在状況	
報告者	(施設名)	(担当者)	
受付者	(所属部課)	(担当者)	
報告発信時間	月 日 時 分	報告受領時間	月 日 時 分

(※以下の太線枠内を可能な範囲でご記入ください。)

1	施設概要	(施設名) (施設種別) (所在地) (電話) (定員) 人 (現員) 人 (年 月 日現在)	(施設長名)
2	発生確認日 時	年 月 日 () 時 分	
3	患者数	[入所者] 人 (うち入院者 人) [通所者] 人 (うち入院者 人) [職員] 人 (うち入院者 人)	(月 日) (時 分) 現在
4	入院先 ・通院先	(病院名) (所在地) (電話) ・付添看護の必要 有 無	
5	担当保健所	(保健所名) (担当者名)	
6	発生の経緯 (発見の端緒、感染経路、症状など)		
7	発生原因 (菌名及び食品名)		

8	発症者の 主な症状と 受療状況 (わかれば 抗生剤な ど)								
9	施設側の 措置・対応 (項目を○ で囲む)	給食	継続	献立変更	自粛	中止			
		施設閉鎖の検 討	有	無					
		施設運営内容 の変更	有	無	(変	更)	内
		職員の担当業 務への変更	有	無	(変	更)	内
		利用者措置機 関への連絡	有	無	(月	日	時	分)
10	その他参考 事項 (保健所・ 医療機関の 措置・指示 など)								
		施設長等の緊 急連絡先	電 話 () 職・氏名						

(※1) 入院先の病院が多岐にわたる場合など、この様式に記載内容が納まらない場合には、適宜別紙に記入すること

(※2) 第2回目以降の報告については、前回までの報告との変更点のみの記入で可

保育所児童保育要録（入所に関する記録）

児 童	ふりがな 氏 名			性 別			
		年	月			日生	
	現住所						
保 護 者	ふりがな 氏 名						
	現住所						
入 所		年	月	日	卒 所		
					年	月	日
就学先							
保育所名 及び所在地							
施 設 長 氏 名							
担当保育士 氏 名							

保育所児童保育要録（保育に関する記録）

本資料は、就学に際して保育所と小学校（義務教育学校の前期課程及び特別支援学校の小学部を含む。）が子どもに関する情報を共有し、子どもの育ちを支えるための資料である。

より詳細	保育の過程と子どもの育ちに関する事項	最終年度に至るまでの育ちに関する事項
氏名	(最終年度の重点)	
生年月日	年 月 日	
性別	(個人の重点)	
ねらい (発達を捉える視点)		
健康	明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 </div> <div style="font-size: small; text-align: center; margin-bottom: 5px;"> ※各項目の内容等については、別紙に示す「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿について」を参照すること。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">健康な心と体</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">自立心</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">協同性</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">道徳性・規範意識の芽生え</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">社会生活との関わり</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">思考力の芽生え</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">自然との関わり・生命尊重</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">言葉による伝え合い</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">豊かな感性と表現</div>
	自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。	
	健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しをもって行動する。	
人間関係	保育所の生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。	
	身近な人と親しみ、関わりを深め、工夫したり、協力したりして一緒に活動する楽しさを味わい、愛情や信頼感をもつ。	
	社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。	
環境	身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心をもつ。	
	身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。	
	身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。	
言葉	自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。	
	人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。	
	日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、言葉に対する感覚を豊かにし、保育士等や友達と心を通わせる。	
表現	いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。	
	感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。	
	(特に配慮すべき事項)	
	生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。	

保育所における保育は、養護及び教育を一体的に行うことをその特性とするものであり、保育所における保育全体を通じて、養護に関するねらい及び内容を踏まえた保育が展開されることを念頭に置き、次の各事項を記入すること。

○保育の過程と子どもの育ちに関する事項

*最終年度の重点：年度当初に、全体的な計画に基づき長期の見通しとして設定したものを記入すること。

*個人の重点：1年間を振り返って、子どもの指導について特に重視してきた点を記入すること。

*保育の展開と子どもの育ち：最終年度の1年間の保育における指導の過程と子どもの発達の姿（保育所保育指針第2章「保育の内容」に示された各領域のねらいを視点として、子どもの発達の実情から向上が著しいと思われるもの）を、保育所の生活を通して全体的、総合的に捉えて記入すること。その際、他の子どもとの比較や一定の基準に対する達成度についての評定によって捉えるものではないことに留意すること。あわせて、就学後の指導に必要と考えられる配慮事項等について記入すること。別紙を参照し、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を活用して子どもに育まれている資質・能力を捉え、指導の過程と育ちつつある姿をわかりやすく記入するように留意すること。

*特に配慮すべき事項：子どもの健康の状況等、就学後の指導において配慮が必要なこととして、特記すべき事項がある場合に記入すること。

○最終年度に至るまでの育ちに関する事項

子どもの入所時から最終年度に至るまでの育ちに関し、最終年度における保育の過程と子どもの育ちの姿を理解する上で、特に重要と考えられることを記入すること。

(様式の参考例)

(別紙)

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿について

<p>保育所保育指針第1章「総則」に示された「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、保育所保育指針第2章「保育の内容」に示されたねらい及び内容に基づいて、各保育所で、乳幼児期にふさわしい生活や遊びを積み重ねることにより、保育所保育において育みたい資質・能力が育まれている子どもの具体的な姿であり、特に小学校就学の始期に達する直前の年度の後半に見られるようになる姿である。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、とりわけ子どもの自発的な活動としての遊びを通して、一人一人の発達の特성에応じて、これらの姿が育っていくものであり、全ての子どもに同じように見られるものではないことに留意すること。</p>	
健康な心と体	保育所の生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。
自立心	身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。
協同性	友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。
道徳性・規範意識の芽生え	友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。
社会生活との関わり	家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また、保育所内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。
思考力の芽生え	身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。

<p>自然との 関わり・ 生命尊重</p>	<p>自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気づき、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることをもちかえりをもって関わるようになる。</p>
<p>数量や図形、 標識や文字 などへの 関心・感覚</p>	<p>遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。</p>
<p>言葉による 伝え合い</p>	<p>保育士等や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。</p>
<p>豊かな感性と 表現</p>	<p>心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気づき、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。</p>

保育所児童保育要録（保育に関する記録）の記入に当たっては、特に小学校における子どもの指導に生かされるよう、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を活用して子どもに育まれている資質・能力を捉え、指導の過程と育ちつつある姿をわかりやすく記入するように留意すること。

また、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が到達すべき目標ではないことに留意し、項目別に子どもの育ちつつある姿を記入するのではなく、全体的、総合的に捉えて記入すること。

【問い合わせ先】

八尾市健康福祉部福祉指導監査課

TEL : 072-924-3012 (直通)

FAX : 072-922-3786

E-mail : sidouk@city.yao.osaka.jp